

# お金にまつわる トラブル防止ポスターをつくろう ～金銭問題に関する防衛策を学ぼう～

(総授業時数：12時間)

### 実施学年、教科など

第2学年 美術 伝達のデザイン (デザイン：表現(2))

### 単元(題材)の目標

- ①ポスター制作に関心を持ち、心豊かに生きる上でのデザインの意味や必要性の認識をもち意欲的に制作を行うことができる。(美術への関心・意欲・態度)
- ②伝えたい内容を明確にし、より効果的に伝達するための構想を深めることができる。(発想や構想の能力)
- ③レタリングや絵の具の使い方など基本的な技能を身につけ、伝えたいテーマを効果的に表現することができる。(創造的な技能)
- ④条件に応じて、形・色・構図・材料などをまとめ上げ効果的に表現することができる。(創造的な技能)
- ⑤ポスターに込められた意図や表現の工夫などを理解し、見方を深め、作品に対する価値意識をもって批評し合い、良さや美しさを味わうことができる。(鑑賞の能力)

### 学習の評価

- ①ポスターに関心を持ち、作者の制作意図を読み取ろうとし、意欲的に学習活動に取り組んでいる。
- ②お金にまつわる事例からテーマ設定を行い、自ら表現するポスターの構想を練ることができる。
- ③基本的な表現技能を身につけ、制作意図の伝わる作品を制作することができる。
- ④グループ活動(相互評価など)を通して、作品の質を高め、コミュニケーション能力を高めることができる。

### 展開の特色

- ①単元の導入段階において、金銭に関わる事例を提示し、現在身近で問題になっている「振り込め詐欺」、「マルチ商法」、「ヤミ金融」などに関心をもつことで社会人、消費者としての必要な知識を身につけ、それを防ごうとすることを目指している。
- ②コンピュータを利用することで、構図や配色などの構成を視覚的に意識させる。
- ③伝えたい内容がどのような形で伝達されるかを考えるため、自分の考えや作品を発表したり、評価し合ったりする場面を設定し、互いの表現の良さや個性を認め合うことができるよう目指している。

### その他

新聞記事(振り込め詐欺による被害について)、金融広報中央委員会「きみはリッチ?」、金融庁ホームページ、警視庁ホームページを参考にする。

入門ガイド

小学校における入門ガイド

中学校(社会)における入門ガイド

中学校(技術・家庭)における入門ガイド

実践事例

幼稚園における実践事例

小学校における実践事例

中学校における実践事例

2学年

高等学校における実践事例

資料

金融教育に関する年間指導計画の例

資料

指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動
1 2	・金銭トラブルの事例を知り、ポスターのテーマとする。	○ポスターの特質を学ぶ ・ポスターの起源から参考作品を提示。  ○ポスターを見る目を養う ・消費者金融(利息、保証人)、ヤミ金融、振り込め詐欺について知る。 ・実際の被害の新聞記事を読む。  ○ポスターの内容を考える ・金銭トラブル防止のポスターをテーマに設定し、具体的に考える。
3 4 5 6	・作品制作に向け構想を練る。	○アイデアスケッチ ・いろいろな視点からアイデアスケッチを行う。  ○制作1 ・下書き レタリング、イラスト、構成 ・着彩 色による感じ方の違い、レイアウト
7 8 9 10	・表現技法を駆使し表現意図に合うよう表現を工夫する。	○制作2(仕上げ) ・着彩 ・自ら選択した表現技法 ・バランスの良い配置
11 (本時) 12	・ポスターに込められた意図や表現の工夫を理解して、作品の良さや美しさを味わう。	○グループ鑑賞会を行う ・鑑賞の視点 ・鑑賞会  ○全体鑑賞会を行う ・作品の良さを味わう

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
◇ニュースでみる金銭にまつわるトラブルの中身について考える。  ◇お金のトラブルの巧妙さや、怖さを知る。  ◇トラブルを起こすもととなるポスターを知る。	☆『きみはリッチ?』などを使い、消費者金融の仕組みについて知るとともに、正しい知識を身につけさせる。 (導入段階の工夫) ☆実際の金銭にまつわるトラブルの新聞記事を見せる。 (構造化した板書) ☆見せたくないことが小さな文字で書かれている傾向があり、トラブルの要因になっていることを押さえる。	・新聞記事 ・金融広報中央委員会『きみはリッチ?』
◇被害者からの視点や加害者からの視点を考えることで、金銭トラブルの畏に気づく。	☆自他の考えを比較検討させるために「より効果的にみせるにはどうすればよいか」と拡散的発問を行う。 ☆制作の途中に実物投影機などを用いて、作品を提示し、批評会を行う。 (視聴覚機器の活用)	
◇金銭トラブルの怖さや、お金の大切さなどのテーマをしっかり表現できるよう工夫する。	☆構図によって画面の変化があることに気づかせるためにコンピュータなどを用いて構成を行う。 (視聴覚機器の活用)	
◇「金銭トラブル防止ポスター」として、表現が適切であるかを考える。	☆3~4名の小人数による相互評価を行う。その後グループ代表の作品の鑑賞会を行う。 (構造化した板書) ☆ポスターは視覚伝達デザインであり、言葉がなくても、相手に伝えたい内容を伝えることができることが望ましい。自分が制作した作品をお互いに評価し合うことで、自主性と個性を認め合う心を育てる。	・ワークシート No.1 ・ワークシート No.4 (「本時の展開」参照)

入門ガイド  
小学校における入門ガイド  
中学校(社会)における入門ガイド  
中学校(技術・家庭)における入門ガイド

実践事例  
幼稚園における実践事例  
小学校における実践事例  
中学校における2年実践事例  
高等学校における実践事例

資料  
金融教育に関する年間指導計画の例  
資料

入門ガイド  
小学校における入門ガイド  
中学校(社会)における入門ガイド  
中学校(技術・家庭)における入門ガイド

実践事例  
幼稚園における実践事例  
小学校における実践事例  
中学校における2年実践事例  
高等学校における実践事例

資料  
金融教育に関する年間指導計画の例  
資料

本時の展開

導入

展開

まとめ

学習内容	学習活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてを確認 構図・色彩・キャッチコピーによって訴える力が異なることを発見しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○同じポスターでも、色や、文字・イラストの配置を変えるだけで、作品の印象が変わることを知る。</li> <li>○ダイヤモンドランキングを用いて鑑賞の視点を考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞会の方法を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞の視点を知り、相互評価のポイントを押さえる。</li> <li>○鑑賞の視点を意識して作品を鑑賞する。</li> <li>○訴える力があるかを考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞会を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各グループで相互に評価しながらメモをとる。</li> <li>○自分以外のグループの作品を鑑賞する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な角度や視点など、構図を決定する際に大事なポイントを押さえる。</li> <li>○自分が評価された構図について、さらに自己評価を行うことで本時のまとめとする。</li> </ul>

【本時の目標】

- ア 金銭に関わる正しい判断力を身につける。
- イ 画面構成の工夫により、作品の印象が変化することを押さえ、デザインの大切さを学ぶ。
- ウ 同じテーマを扱っても作者の表現意図や表現方法によって多様な表現があり得ることを学ぶ。

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇見る人に伝えられる構図、色は何か、アドバイスを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆本時の鑑賞活動の見通しをもたせるために、めあての提示とともに、本時の流れを説明する。</li> <li>☆一番大切だと思うものを1番上に、8つの項目を分類する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイヤモンドランキング ワークシート No.1 (→P.120)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆グループごとに相互評価を行う中で、グループ内の交流活動による学習形態の工夫によって、様々な価値観を感じ、創造的な画面作りを身につけることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りプリント ワークシート No.2 (→P.121)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆各グループの相互評価が円滑に進むようにするため、机間指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリント ワークシート No.3 (→P.122)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆充実した自己評価ができるようにするために、静かな場をつくることを指示する。</li> <li>☆他の生徒に評価されたことを十分にふまえながら、関心・意欲・態度、鑑賞の2つの観点で自分を振り返るように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価表 ワークシート No.4 (→P.124)</li> </ul>

入門ガイド

小学校における入門ガイド

中学校(社会)における入門ガイド

中学校(技術・家庭)における入門ガイド

実践事例

幼稚園における実践事例

小学校における実践事例

中学校における実践事例

2年

高等学校における実践事例

資料

金融教育に関する年間指導計画の例

資料

入門ガイド

小学校における入門ガイド

中学校(社会)における入門ガイド

中学校(技術・家庭)における入門ガイド

実践事例

幼稚園における実践事例

小学校における実践事例

中学校における実践事例

2年

高等学校における実践事例

資料

金融教育に関する年間指導計画の例

資料

実践の記録

【良かった点】

- 金銭問題という初めて扱うテーマのポスターであったため、生徒に提示する資料を探すところからのスタートであった。金融中央広報委員会が発行している『きみはリッチ?』などを参考にしながら、インターネットを利用して情報を探した。
- 生徒の発想段階においても、調べ学習を通して実際に自分が調べる情報であったため、現実起こっているトラブルなどから身を守るにはどうしたらよいか、真剣に話し合う姿が見られた。

【改善点】

- 作品に広がりをもたせるということを考えると、発想段階での援助が重要になると強く感じた。
- 構想段階では考えていた、他の教科との連携ができなかった。1つの教科だけで行うより、資料収集や制作に使える時間が増えると思う（特に美術は週に一度、一時間しか授業がないため）。

教材・資料など



# ポスターランキング

ポスター制作で大事なことは何かを考えよう

- インパクトのある構図
- 見やすい、絵と文字の配置
- 人の目を引きつける配色
- 明るい色遣いなど
- 印象に残る短い言葉（コピー）
- 内容を伝える丁寧な言葉（コピー）
- 内容の伝わるイラストなど
- 絵筆の使い方



美術振り返りプリント

# ポスター テーマ 金銭

今、自分が制作しているポスターについてまとめてみましょう。

あなたが一番伝えたい内容は何ですか？（今、描いているポスターについて）

（例）自己破産、振り込め詐欺防止ポスター、ローンの返済ができない など

なぜ、そのポスターを制作しようと思ったのですか？

（例）自己破産などに追い込まれている人のことを学習して、そうなる人が減ってほしいと思ったから

自分のポスターの見所はどこですか？

（例）色遣い → 具体的に、どの色とどの色が目立つように工夫した など

キャッチコピー → 一目見て印象に残るような言葉にした など

構図 → 絵と文字のバランス（どの部分かも詳しく言えるとgood!!）など

2年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_



美術学習プリント

# ポスター制作

## めあて

### 鑑賞会の方法

●鑑賞の視点 ( ) ( )  
( ) ( )

● ( ) する力

### 鑑賞会 ポスターランキング

気づいたことをメモしよう (自分の考えやグループの人の考え)

2年 組 番 氏名

### 美術鑑賞ノートに、友達の子の作品の良いところをメモしていこう

名前	良いところ	改善点
	1	
	2	
	3	
	4	
	1	
	2	
	3	
	4	
	1	
	2	
	3	
	4	

### 自分の作品を振り返ろう

どこを

どうする

入門ガイド  
小学校における  
入門ガイド  
中学校(社会)に  
おける入門ガイド  
中学校(技術・家庭)に  
おける入門ガイド

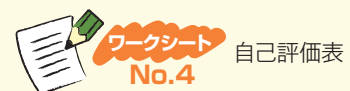
実践事例  
幼稚園における  
実践事例  
小学校における  
実践事例  
中学校における  
2年  
実践事例  
高等学校における  
実践事例

資料  
金融教育に関する  
年間指導計画の例  
資料

入門ガイド  
小学校における  
入門ガイド  
中学校(社会)に  
おける入門ガイド  
中学校(技術・家庭)に  
おける入門ガイド

実践事例  
幼稚園における  
実践事例  
小学校における  
実践事例  
中学校における  
2年  
実践事例  
高等学校における  
実践事例

資料  
金融教育に関する  
年間指導計画の例  
資料



## ◇自己評価表

2年 組 番 名前

★あてはまる数字を書き込みましょう。

(1) 友だちのポスターを見て、良いところや改善点を見つけることができましたか？

- ① 見つけることができた。
- ② あまり見つけることができなかった。
- ③ ほとんど見つけることができなかった。

(2) グループの話し合いで、自分の意見を発言することができましたか？

- ① 積極的に発言することができた。
- ② 発言することができた。
- ③ あまり発言することができなかった。
- ④ ほとんど発言することができなかった。

(3) 友だちの意見を参考にして、デザインをより良いものに進める方法を発見することができましたか？

- ① より良くする方法を発見することができた。
- ② 友だちと話すことで良い方法を発見した。
- ③ ほとんど発見することができなかった。